

新インターネットと上手につき合う

第8回

絵をみて分かるインターネット技術の基礎 インターネット上のサービス

インターネットのしくみについて、基礎から分かりやすく解説します。

高橋 誠

Takahashi Makoto

システムエンジニア

株式会社アंकにて、システム開発の傍ら、『Cの絵本(第2版)』(翔泳社、2016年)を始めとするIT専門書の企画、監修、執筆を行っている。

かつて単なる情報伝達の手段だったインターネットは、今や私たちの生活に欠かせない社会基盤に発展してきました。今回は4つのテーマに分けて、インターネット上のいろいろなサービスを見ていきます。

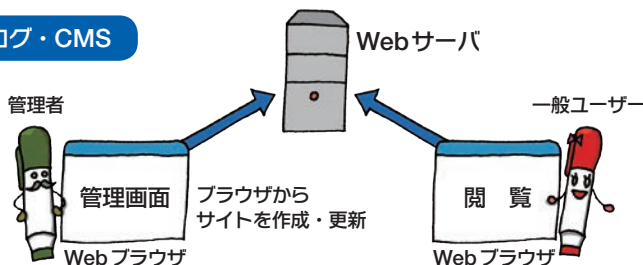
ウェブによる情報の発信

インターネットでは個人でも世界中に情報を発信できます。



Webサイトを作るには、WebサーバにHTMLファイルなどのコンテンツを転送するのが基本ですが、近年は**ブログ**や**CMS**を利用することでWebブラウザを通して手軽にWebページを作成できるようになってきました。複数ユーザーで更新できる**Wiki**のようなサイトもあります。

ブログ・CMS



● ブログ

コンテンツを簡単に追加・更新できるようにしたWebサイトで、日記に向いています。デザインもテンプレートから選べて、気軽にホームページを始められます。WordPressなどが有名です。

● CMS(コンテンツ管理システム)

商品カタログのようにコンテンツを管理するシステムですが、近年はWebサイトを構築する際のツールとして使われることも多くなっています。

● Wiki(ウィキ)

ユーザーが集まって、決まったテーマに関連する情報を更新していくWebサイトです。WikipediaはWiki方式で作られた辞書です。

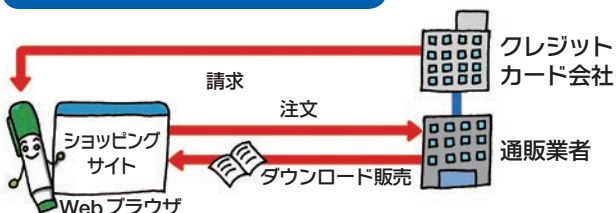
電子商取引 (EC: イーコマース)

インターネットを使った経済活動全般を電子商取引といいます。



電子商取引には、インターネットショッピングのほか、振込や残高の確認ができるインターネットバンキング、リアルタイムに株の売買ができるインターネット株取引、**仮想通貨**などが含まれます。

インターネットショッピングの例



インターネットは、商用での利用が進むことで、一般に普及してきました。



● インターネットショッピング

通信販売のWebサイトです。クレジットカードなどで決済します。物品だけでなく、ソフトウェアや電子書籍などのダウンロード販売も含まれます。

● 仮想通貨

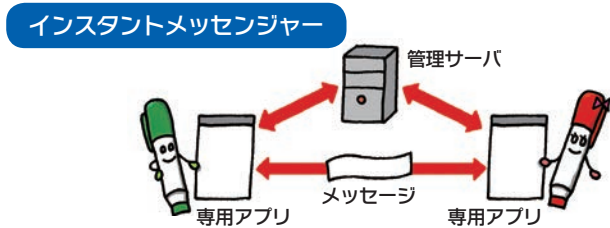
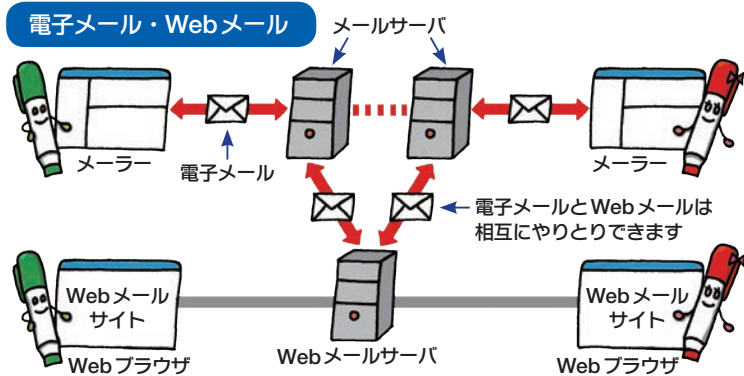
近年登場した、インターネット上で取引される通貨のような機能を持つ電子データです。ドルや円などの法定通貨と異なり、価値の保証はありません。

コミュニケーション

インターネットの長所は、リアルタイムに連絡を取り合えることです。



少人数同士のやりとりには電子メール・Webメールやインスタントメッセージ、不特定多数のやりとりには掲示板やチャットが向いています。



●電子メール(email)

sendmail、pop、IMAPなどのプロトコルでメッセージをやりとりします。メーラー（メールソフト）が必要です。

●Webメール

Webブラウザ上でメールをやりとりできるサービスです。届いたメールはサーバに保存されます。Google社のGmailは無料でアカウントを作成できます。

●インスタントメッセージ(IM)

中心となるサーバを介さず、端末間で直接メッセージをやりとりするP2P(Point To Point)サービスです。音声データをやりとりすることで通話も可能です(IP電話)。Skypeが有名です。ログイン時や新しい相手とやりとりするときは、サーバと通信を行います。

●掲示板

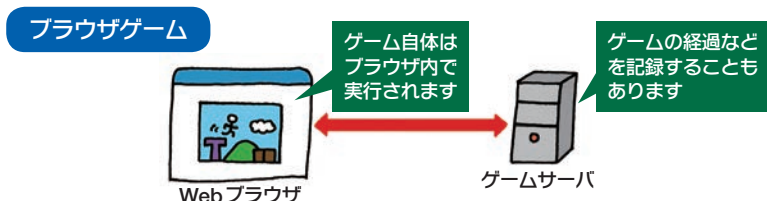
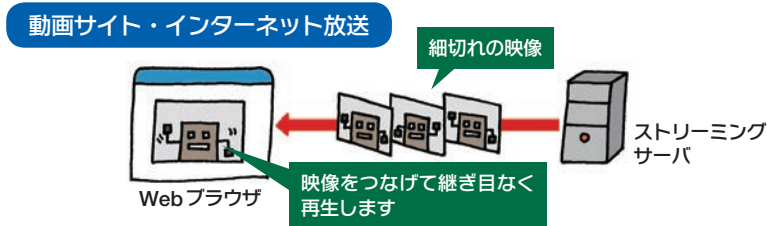
ユーザーが投稿したメッセージをWebサイトに表示します。

●チャット

ユーザーがリアルタイムに短文を投稿することで、複数人がWeb上で会話できるWebサイトです。

エンターテインメント

ブロードバンドの普及で動画サイトやインターネット放送も身近になりました。ゲームでは、ブラウザ上でそのまま遊べるブラウザゲームやインターネットに対応したオンラインゲームが増えています。



SNSは掲示板、チャット、ブログなどの特徴を持っていますが、情報の公開範囲を限定してコミュニティを構成できるところが異なります。



●動画サイト

Webブラウザ上で動画を閲覧したり投稿したりできるサービスです。

●インターネット放送/ラジオ

テレビやラジオと同じように動画や音声を配信するしくみです。大きく分けてリアルタイムな放送と、ユーザーからの要求を受けて配信するオンデマンドの2通りがあります。

●ブラウザゲーム

Webブラウザ上でゲームがプレイできます。FlashやHTML5といった技術を使っています。

●オンラインゲーム

各ユーザーのゲーム同士でマウスやキーボードの操作情報やキャラクターの位置情報などをリアルタイムに共有することで、複数人で協力したり対戦したりできます。